

大津市に放射能汚染から市民の命と健康を守る政策の実施を求める要請署名

大津市長 目片 信 様

3月11日に発生した東京電力福島第一原子力発電所の連続爆発、炉心溶融（メルトダウン）事故は、発電所周辺地域のみならず、日本全国、世界に大量の放射能を放出、拡散させ、海も、大気も、大地も、国内ではかつて経験したことのない深刻な放射能汚染を引き起こしました。

将来がんを引き起こす危険性の増大など、今、子どもたちをはじめ多くの人々、生物の命が脅かされています。

また今回の事故で避難措置がとられている福島県の12市町村で、自治体外での生活を強いられている住民は8月末時点で10万人以上となり、住み慣れた家、職場を追われ、故郷に帰れる見通しもなく、不便で不安な避難生活を余儀なくされています。

そして汚染された食品などを通じて、被曝者が全国いたるところに拡大している事実は決して見過ごすことはできません。

今回の原発事故で明らかなのは、原子力災害は取り返しのつかないほど深刻で広範囲に被害をもたらすということです。大津市は、福井県の14基の原子力発電所が位置する所から、わずか34キロの地点です。福井県の原子力発電所が建てられている場所は、多くの活断層が存在しており、いつ地震が起きても不思議はない大変危険な地域です。この福井で原発震災が生じた場合、大津市は直下の被災地となります。今、福島原発事故の原因究明と対策もとられていない中で、関西電力(株)は、大飯原発をはじめとする停止中の原子力発電所の再稼働に向けた準備を進めていますが、これは市民の生活と命をないがしろにするものとして、到底認められるものではありません。

以上、福島第1原子力発電所大事故をめぐる現在の状況に鑑み、大津市が当事者として放射能汚染から市民の命と健康を守るため、以下の政策の実施を求めるよう要請します。

【要請項目】

1. 福井県における定期検査中等の原子力発電所に関し、再稼働を行わないよう、関西電力(株)等電力会社に働きかけること。
2. 大津市へ10 μ Sv/年以上の震災ごみを持ち込まず、大津市で焼却しないこと。
3. 食品放射能測定器を市として購入し、保育園や学校給食の食材を測定し、公表すること。

お名前	ご住所

【取扱者：

】

脱原発・滋賀☆アクション

〒520-0051 大津市梅林一丁目14の24 みんなの家気付 090-6323-4858(峯本)